

第4回クルマ・社会・パートナーシップ大賞

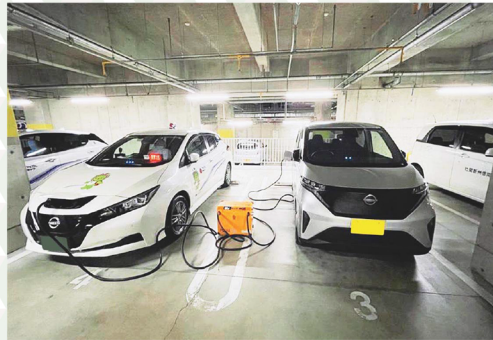
～日本自動車会議所感謝表彰～

選考委員特別賞

EVタクシーのデマンド 交通運行でCO₂削減

南信州広域タクシー

脱炭素へ公共交通事業者を先導



南信州広域タクシー（鈴木佳史社長、長野県飯田市）は、二酸化炭素（CO₂）排出ゼロのゼロエミッションタクシーを活用した、地域のデマンド交通運行、災害時のラッシュライン確保、次世代自動車導入促進を後押しする活動を進めてきた。

2008年、地球における南信州広域タクシーは環境モデル都市に選出さ

優しい運輸業界を指した認証制度「グリーン経営」の認証を取得し、活動をスタート。所有する車両の100%が環境に優しい車両となっており、次世代自動車と呼ばれる電気自動車（EV）を積極的にタクシー車両として導入している。同社は、本社社屋の屋根に43kWの太陽光パネルを設置しており、日照時間は太陽光から得た電力を、本社内の電力やEVの充電に活用している。夜間や天候によって不足する電力は「非化石証書」を購入することで補い、電力を作る・活用する・活用するすべてにおいてCO₂排出ゼロのゼロエミッションタクシーを誕生させた。同社が位置する飯田



優れており、ゼロエミッションタクシーは同市行政から委託されるデマンド交通として運行されている。さらに、このEVの給電システムを活用し、災害におけるライフラインの確保に向けた電力供給を行う災害協定を自治体と締結。本社にV2Hを設置したことで、大規模災害で電力がストップした時でも電力を保ち続けることができる。これにより住民の災害時不安を払拭し、災害に強い町づくりをCO₂排出ゼロの電力で共助している。



また同社は、次世代自動車導入を促進するため、同社が自助のために整備してきたインフラ施設を提供する活動を開始。まず、社用車や営業車のEVへの代替を推進している地域の行政や企業向けに、同社が所有している急速充電器を無料で開放している。この急速充電器は305

【受賞者コメント】この度は選考委員特別賞を受賞させて頂き、感謝申し上げます。この受賞は弊社だけの取り組みではなく、環境文化都市である私達の町「飯田市」の多くのパートナーが連携した事が評価されたと思っています。できる事から地道に積み重ね、公共交通機関としての当たり前の行動を推進して参りました。今後もクルマ社会の中で、より良いコミュニティを実現する為に、人と環境にやさしく安全の上に安心を提供する企業を目指して参ります。

日24時間利用が可能。また、EVの電欠対応として可搬型EV充電器「POCHAV2V」を導入。EVからEVへの充電ができるため、どのような場所でもEVの充電が可能。これを活用し「電欠時駆けつけサービス」を開始した。これにより充電設備の不足や電欠の不安を払拭でき、次世代自動車導入の促進を図っている。



第4回 CSP大賞2024